

# 社会福祉法人 一宮市社会福祉協議会

## 令和6年度 事業報告・決算報告

6月10日に理事会、6月26日に評議員会を開催し、令和6年度事業報告および決算について承認を受けました。

### 主な事業の振り返り

#### ボランティアセンター活動事業

令和6年能登半島地震により甚大な被害を受けた地域の復旧・復興支援のため、稲沢市社会福祉協議会と合同で「災害ボランティアバス」を運行し、石川県珠洲市へ災害ボランティアを派遣しました。活動日は2024年7月6日（7月5日深夜出発）で、ボランティア37名と社協職員4名の計41名が参加し、被災地での復旧作業や支援活動に取り組みました。



#### 重層的支援体制整備事業

一つの支援機関だけでは解決に導くことが難しいような複雑な、複合的な課題を持つ方（家族）をサポートするため「対象者の属性を問わない相談支援」「多様な社会参加に向けた支援」「地域づくりに向けた支援」を一体的に実施し、包括的な支援体制の構築を進めました。また、こうした途切れない重層的な支援体制の構築に向けて、福祉関係者間の「連携」を深めることを目的に、3月18日に講演会を開催し、43名が参加しました。

#### 一宮市成年後見支援センター運営事業

認知症、知的障害、精神障害等により判断能力が十分でない人に対して、成年後見制度の利用をはじめとする適切な権利擁護支援が行われるよう中核機関である「成年後見支援センター」を3月10日に開設しました。開設後は、制度の周知に向けた広報活動や、本人やご家族、関係機関からの相談対応を行うなど、地域における権利擁護の支援体制づくりに取り組みました。



#### 児童・青少年福祉活動事業

児童・生徒が障害者や高齢者との交流を通じて地域の福祉課題や生活課題に気づき、ともに生きる力を育むことを目的として「福祉実践教室」を市内61校で実施しました。さらに、より実践的な学びにつなげるため、スクールソーシャルワーカーと連携し、4校において事前学習も実施しました。



事業報告・決算報告の詳細については、本会ウェブサイトにてご覧いただけます。  
(<https://www.138sk.org/index.php/houkoku-kessan>)